

## 平成29年度茨城県統計グラフコンクール結果

統計知識の普及向上を図るとともに、次代を担う児童・生徒を中心に早い段階から統計に慣れ親しんでもらうことを目的に「第68回茨城県統計グラフコンクール」が茨城県、茨城県教育委員会及び茨城県統計協会の主催、並びに茨城新聞社の後援により6部門に分けて行われ、3,516点（8,113人）のご応募をいただきました。

9月20日（水）に茨城県庁で県審査会を開催し、各地区から厳選された433作品において審査が行われ、県知事賞6点、県議会議長賞6点、県教育長賞10点、茨城新聞社長賞6点など103点の入選作品が決定しました。入選作品のうち34点を全国コンクールに出品したところ、1点が部門別の第1位である特選を受賞したのをはじめ、1点が入選一席、7点が入選、6点が佳作に入賞するという輝かしい成績を収めることができました。本県は応募点数が24年連続で日本一、また、18年連続で特選を受賞するなど、長年にわたりトップを維持しています。

全国コンクール特選受賞者は、平成29年11月13日（月）に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「第67回全国統計大会」において表彰されたほか、県コンクールの上位入賞の代表者は、平成30年1月17日（水）に茨城県庁で開催される「平成29年度統計功労者表彰式」で表彰される予定です。

平成29年度茨城県統計グラフコンクールの応募・入賞状況は次のとおりです。

### 平成29年度茨城県統計グラフコンクール応募・入賞状況

#### 応募状況

部 別	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	パソコン統計 グラフの部	計
応募作品数	413	1,085	1,294	246	3	475	3,516
応募人数	697	2,352	3,154	697	8	1,205	8,113

#### 入賞状況

賞 名	作品点数	作成者数	全国 コンクール 出品点数	全国コンクール入賞点数			
				(特選)	(入選一席)	(入選)	(佳作)
県知事賞	6	18	6	—	—	1	1
県議会議長賞	6	14	6	—	1	1	1
県教育長賞	10	28	10	1	—	2	2
茨城新聞社長賞	6	11	6	—	—	1	1
県統計協会総裁賞	25	50	6	—	—	2	1
県統計協会会長賞	50	100	—	—	—	—	—
合 計	103	221	34	1	1	7	6

■茨城県知事賞



〈第1部〉  
筑西市立  
五所小学校  
2年  
新井 由希奈



〈第2部〉  
坂東市立  
岩井第一小学校  
3年  
倉持 佑成  
高橋 伶遙  
高橋 遙



〈第3部〉  
龍ヶ崎市立  
馴柴小学校  
6年  
近野 豪樹  
  
※全国コンクール  
「入選」受賞



〈第4部〉  
桜川市立  
岩瀬西中学校  
1年  
飯塚愛菜美  
上野 美羽  
田中 愛佳  
谷中 優唯



〈第5部〉  
茨城県立  
日立第一高等学校  
3年  
根岸 凜太  
シンガポール  
日本人学校中学部  
3年  
根岸 和怜  
日立市立  
河原子中学校  
2年  
鈴木 教弘  
シンガポール  
日本人学校小学部  
6年  
根岸 浩志朗  
日立市立  
河原子小学校  
5年  
鈴木 隆生



〈パソコン統計グラフの部〉  
神栖市立  
息栖小学校  
6年  
秋武 大介  
平山 琴美  
松崎 蒼依  
鈴木 幸奈

※全国コンクール  
「佳作」受賞

## ■茨城県議会議長賞



〈第1部〉  
古河市立  
中央小学校  
1年  
亀井 愛菜  
斉藤いりま



〈第2部〉  
龍ヶ崎市立  
馴柴小学校  
4年  
近野 颯南



〈第3部〉  
八千代町立  
中結城小学校  
6年  
中村 心音  
  
※全国コンクール  
「佳作」受賞



〈第4部〉  
常総市立  
石下中学校  
1年  
門井 未来  
須山 華帆  
霞 由来  
中山 未遥



〈第5部〉  
明秀学園  
日立高等学校  
2年  
佐藤 夢芳  
  
※全国コンクール  
「入選」受賞



〈パソコン統計グラフの部〉  
つくば市立  
大穂学園中学校  
3年  
稲葉 啓斗  
菅野 梨音  
1年  
佐藤 碧  
野島 匠史  
吉川 泰生  
  
※全国コンクール  
「入選一席」受賞

- 各部門の区分は以下のとおりです。
- 第1部……………小学校1・2年生の児童
  - 第2部……………小学校3・4年生の児童
  - 第3部……………小学校5・6年生の児童
  - 第4部……………中学校（注1）の生徒
  - 第5部……………高等学校（注2）以上の生徒・学生及び一般
  - パソコン統計グラフの部…小学校の児童以上

（注1）中等教育学校の前期課程を含む。

（注2）中等教育学校の後期課程を含む。

※義務教育学校については、前期課程を小学校に、後期課程を中学校に含める。